



「自分が好き、ふるさと十和田市が好き」という気持ちを育む本市独自のキャリア教育事業は、市立小・中学校で各校の特色を生かして行われています。今号では、沢田小学校と甲東中学校の取り組みを紹介します。
※児童・生徒の感想は、ほぼ原文のまま掲載しています。

沢田小学校 「一校一心」～夢・希望・志をもち、郷土を愛する子どもの育成を目指して～

さくろう！沢田の水～水めぐり学習～ (4年生)



奥瀬堰土地改良区のご協力のもと、法奥小学校と合同で故郷の水めぐり学習を行っています。

児童の感想



市澤 大三郎 さん
ぼくは「水めぐり」の学習で実験をして、十和田湖から沢田の地域まで流れてきている水がきれいだということが分かりました。あと、水の力で電気を作っている機械のモーターがとても大きくてもすごい音がしたので、ここで仕事をする方々は大変だなと思いました。

沢田の自然や水を大切にしながら様々なことに生かす方々がいる沢田地区をぼくも受け継いで未来へつなげていきたいです。



丸 輝波 さん
水めぐり学習では、十和田発電所の大きなモーターが1分間で600回も回って電気を起こしていることにびっくりしました。また、奥入瀬川の水を6か所とって検査したら、ほとんどの場所の水がきれいだったのですごくいいなと思いました。

ぼくたちの沢田地区に来る水が大切に使われ、守られていることが分かったので、ぼくも大切にしていきたいです。

沢田鶏舞を伝えよう (6年生)

児童の感想



本校では4年生から6年生までの児童が、鶏舞保存会や沢田小OBの十和田湖鶏舞くらぶのご協力のもと沢田地区に伝わる「沢田鶏舞」の伝承に取り組んでいます。

今年度は沢田小学校創立150周年式典の祝舞として踊りました。

3学期になると、6年生は次年度から踊ることになる3年生に鶏舞の踊り方を教えます。



音道 香乃 さん
私は鶏舞が大好きです。特に踊るときのお囃子がかっこいいです。太鼓や笛、手平鉦の音に合わせて踊っていると気持ちが高まってきます。また、みんなが「あーいやす、いやす、さっささ」と声をかけ、ぴったり合った時はとても気分がいいです。ただ、鶏舞衣装への着替えが30分以上もかかり、大変です。あと、踊りの中でずっときついポーズで耐える時がありますが「成功させたい」という思いで頑張っています。私は、大好きな鶏舞を下の学年にしっかりと伝えていきたいです。そして、いつまでも鶏舞が途切れないでほしいです。



沢井 光瑠 さん
鶏舞を踊るのは、とても大変です。理由は、いろいろな動きがあり複雑だからです。また、きついポーズのまま我慢しなければならないところもあります。今年、150周年の記念式典で「三役」として披露することになり、練習したけれどなかなかうまく踊れませんでした。でも、本番でうまくできたのでとても嬉しかったです。ぼくは、鶏舞のお囃子が和風の曲っぽくて好きです。一人で踊る「タイシカ」も緊張するけれど、踊ると達成感があります。そんな「沢田っ子鶏舞」がいつまでも続いてほしいです。

生き方講話 (全校)



元オリンピック金メダリストの高木菜那さんの講演を通じて、生徒たちが困難に立ち向かい、何度でも立ち上がる勇気と希望を持つことの大切さを学び、自分自身の未来に対する前向きな姿勢を育むことを目指した講演会を「創立50周年記念事業」の一環として実施しました。



生徒の感想



里村 星波 さん (3年)
大きな目標を決め、諦めずに小さいことから挑戦して最終的にはオリンピック出場、金メダル獲得して本気で夢を追いかけることはかっこいいなと感じました。挑戦するのは怖いと思うんですけど、小さいことから挑戦し、失敗したときのリスクを下げて失敗の怖さを減らすことや、何度も深く考え続けることが大切と学びました。



小山内 壮太 さん (3年)
思いやりの話は人間的、道徳的に成長できる話だったので、これからも謙虚に人を見下さずに生きていこうと思いました。「挑戦はだれでもできる」「自分の人生は自分のもの」「自分ならいける」という3つの名言を心にとめて、自分の人生の中で自分ならいけると、自信をもって挑戦して成功者になってやろうと思いました。

社会との関わりを考えよう (2年生)

本校では「関わりの中で生きる」をテーマに、郷土・社会・未来との関わりについて学ぶ学習を各学年で取り組んでいます。

2年生は、社会問題について調べ、修学旅行の際には問題点に関する省庁や企業を訪問しました。



生徒の感想



櫻田 柚希 さん (訪問先：日本科学未来館)
外国人向けの工夫や取組がたくさんあって勉強になりました。また、人間の動きに応じて動くロボットは、少子高齢社会が進んでいる上に災害も多い日本にとって必要不可欠な存在になっていることを強く感じました。



赤崎 煌明 さん (訪問先：日本科学未来館)
ロボット目線で災害の仕組みや対応について学ぶことができ、学びを深めることができました。また、先端技術を用いた疑似体験はとてもリアルで、少子高齢社会の未来について、より身近に感じられるようになりました。



藤田 結愛 さん (訪問先：東京証券取引所)
普段見ているニュースで取り上げられている株の取引について説明を聞き、案外身近なものだと思いました。株式を通じて、会社が私たちや社会とつながっていることが具体的にイメージできるようになりました。

体験が子どもたちを成長させる 学校以外でもさまざまな活動に挑戦しています

☎スポーツ・生涯学習課 ☎0176-58-0186

市では「交流」、「体験」をスローガンに、「郷土に誇りと深い愛情をもち、たくましく未来を切り拓いていく人づくり」を目指して多様な社会教育事業を行っています。友好都市などとの交流事業、寺子屋稲生塾、リーダー研修会などを通じて、子どもたちは意欲的にチャレンジをし、豊かな学びに触れています。小中高生の皆さん、参加してみませんか。



土佐町親善交流事業、さめうら湖でのSUP体験



第2回寺子屋稲生塾、字樽部キャンプ場での火起こし体験



中高生が企画する子ども会リーダー研修会、いろいろな学校の児童が集まり仲間づくり



▲詳しくは、市ホームページをご覧ください